

# 高津・宮前地区

# 地区研だより

川崎市立中学校教育研究会  
健康教育部会  
高津・宮前地区研究会  
平成26年7月7日発行

## 題材「**よりよい学校生活を築くために男女を理解しよう**」

6月26日(木)高津中学校において、平成26年度第1回高津・宮前地区授業研究が行われました。1年生全クラスで「よりよい学校生活を築くために男女を理解しよう」という題材で行われた授業の中で、今回は1年4組峯村穂波教諭によって実施しました。

### [題材設定の理由]

性の指導に関する指導は、自己の性によく適応するとともに、男女の協力のもとで、健全な家庭・社会を築く人間を育成することを目指し、生涯の見通しのうえに立って行われる指導である。男女相互の理解を一層深めるとともに、人間としてお互いに協力し尊重し合う態度を養うことが大切であると考えるこの題材を設定した。

### [本時のねらい]

変化には、男女差・個人差があることを理解し、互いを尊重し合える心を養う。

### [授業の流れ]

#### ■導入

事前アンケートの結果と体のシルエットから思春期のからだの変化を感じる。

#### ■展開

「お互いに思っていることについて考えてみよう。」では男女別の班を作って、意見を出した。

「お互いのどんな良さに気づいているのかな？」

については付箋紙に書き、模造紙に貼っていった。そして、

その中からベスト3を短冊に書き黒板に掲示し、確認した。

#### ■まとめ

今日の授業を踏まえて、男子は女子へ、女子は男子へメッセージカードを書いた。

#### [事後活動]

メッセージカードを見て感想を書かせた。



## 研究協議

研究協議では、授業者の自評後、グループに分かれて、ワークショップ型で感想や気づきを出し合いました。

### 【自評】

思ったことを口にする生徒に周りが流されてしまった。意見を言いやすい雰囲気になっていたが、反面、なんでも言ってしまうことによって素直な意見ではなく、周りの目を意識したものになっていた。

### 【評価】

#### 教材の工夫

短冊や付箋紙を使うことで話をまとめやすかった。パワーポイントでわかりやすかった。

#### 班編成の工夫

男子班 女子班に分けることで活発な意見交換ができたと思う。

#### 視覚に訴える

シルエットの男女差がわかりやすかった。テレビを見て活動を提示していたので活動がわかりやすかった。

#### 言葉の投げかけ

リフレーミングが良かった。男女のいいところを出しあうことで尊重し合う雰囲気が作れた。

お互いの良さを認めていく気持ち見つめようとする心の変化を感じた。・先生と生徒のやり取りがうまかった。

#### 教師疑問課題

- ・時間がなくなってしまい男女班になる活動ができなくて残念。・短冊の字が小さかった。
- ・個人差部分でもう少しアプローチがあってもよかった。
- ・黒板に本時のねらいをかいたほうがよい
- ・話し合いのルールが貼ってあったが、伝わっていなかった。

#### 生徒の良さ

活発な意見交換 生徒がきちんと意見を言っている。

◎作業に夢中になっていた。班の中で意見を聞く、落ち着いた話し合いをするとよい。

◎時間の工夫、最後の活動はやりたかった。

◎「話し合いのルール」「ねらい」を目と耳でもう一度確認したほうが良かったのではないか。

#### 【指導者講評 南生田中学校 校長 遠藤利美先生】

問題提起ができてよい授業だった。途中時間がなくなったのは残念だった。

人間性の教育、命の教育ともかかわりがあり、担任の思いが指導案の中にあればよい。雰囲気が良かった。今後の中でこれをきっかけとして話す聞く理解するをクラスにどう浸透させるかが大切です。

#### 【指導講評 健康教育課指導主事 田中理恵先生】

- ・ねらいの確認は最初に提示したほうがよい。
- ・性に関する指導というとハードルが高くなるが、養護教諭による研究が原案となって活用されていてよかった。
- ・抵抗感、照れがなくなることが大切。
- ・話し合いのルールをいうことで照れをとることができる。
- ・事後の活動をどう感じるか、メッセージを見て考えることも大事なところで、自己目標を持って今後の指導に生かせる。
- ・生きることを考えることも性に関する指導。学校の実態に応じて学級指導を行うが、根づいていない学校ではこの方が適している。

